

発行日：1996年7月15日

ろくおん通信

No. 84

発行：盲人福祉センター録音製作係

処理を考える (12)

カッコ・記号などの処理

83号で（ ）の後の言葉を前に移動する処理の例があったので、移動する方がよいと思われる方がありました。しかし、カッコの移動は注意しないとスマート(?)になったようでも、かえって文章を混乱させることがおこります。例文2で考えてみましょう。

例文2では、「が」を移動する人が多いのではないのでしょうか。

「一八七八年か七九年の七月二十二日が誕生日です（一八七七年という資料もあります）が、・・・」の「が」を前に移動すると、「一八七八年か七九年の七月二十二日が誕生日ですが、一八七七年という資料もあります。／父親が出生届をなかなか出さなかったため、はっきりとした年はわかっていません。」と、文章が二つに別れてしまいます。仮に、「が」を移動するのであれば、「カッコ・カクコトジ（トジ）」を読み込む必要があるでしょう。移動せずに、「一八七八年か七九年の七月二十二日が誕生日です。一八七七年という資料もあります。が、父親が出生届をなかなか出さなかったため、はっきりとした年はわかっていません。」と読んでも文章としては2つになってしまいます。しかし、カッコを読み込むと、「・・・カクコトジ（またはトジ）、が、父親が出生届を・・・」となって、なにの「が」だったのかちょっとわかりにくくなりそうです。どちらで処理してもあまりかわらないような時には、移動するといった処理はしないようにしましょう。

次に、後半に出てくる（ ）の処理で、「が」を前に移動して読むとどうなるでしょうか。

「一九世紀に入って、ポーランド軍団はナポレオンに与^{くみ}して闘い、ワルシャワ公国をくりましたが、一八〇七年、ナポレオンの敗北によってウィーン会議・・・」
となります。仮に、カッコ内の読み方の調子を変えても「1807年、ナポレオンの敗北

によって・・・」といった文章に解釈する人がでるでしょう。「が」を前に移動して読むと、「1807年」がワルシャワ公国をつくった年なのか、ナポレオンの敗北にかかるのかは聞き手にによって様々にとられます。このような処理はさげなくてはなりません。

移動する場合、別の文章に取られてしまうことがありますのでよく考える必要があります。

例文1では、「・・・・」と「……」の読み方が問題でしょう。はじめに出てくる「・・・・」の処理は、「人間の脳ってとても複雑、何百億だかの脳細胞が、てんてんてん、コンピューターと脳の話で必ず出てきます。」といった読み方で処理できそうですが、後に出てくる「……」の記号を「てんてんてん」とか「六点リーダー」、或いは「カッコ てんてんてん カッコトジ」、「カッコ、六点リーダー、カッコトジ」と読まれる方はありませんでしたか。コンピュータの音読（おんどく）ではそうした処理になりますが、音声訳者の処理では、聞き手に文章の内容が伝わるように処理する必要があります。上記の「 」内の文章を省略しているわけですから、音声訳では省略しないで読み込むことが必要です。

「……」と同じ意味で使われる表記は他にもいろいろあります。記号を処理する場合、記号をそのまま読むだけでは意味が通じない場合、記号で表している意味を音声訳者が音声に変えて処理する必要があります。

例文3は、「正」「正一」「一」「**一**」の読み方です。最初に出てきた「正（セイ）、の字でもって・・・」と読むだけではなんのことかわからない人がでてきます。誰にでもわかるように処理しようとすれば、「正」の字に補足が必要になります。「セイ、正しいという字」などと補足する場合がありますが、私たちには常識でもセイがなぜ回数と関係あるのかがわからない読者もいます。

例えば、「正（セイ）の字でもって、音声訳者注、セイは正しいという字。5画の字で回数を記入する時などに使います。注オワリ。」と補足する方法もあるでしょう。

『「正」もしくは「正一」になってしまう。』の所を「セイ、もしくはセイイチになってしまう。」とうっかりそのまま読むと利用者は何のことかわりません。著者は回数を問題にしているわけですから、利用者にはわかるようにするには、「セイ、5回、もしくはセイイチ、6回、になってしまう。・・・・カレンダーは1か2になる。」と読むべきでしょう。

先月号の例文

【例文1】

●コンピューターと人間

人間の脳ってとても複雑、何百億だかの脳細胞が・・・・、コンピューターと脳の話で必ず出てきます。そして、結論は決まって「コンピューターには人間の真似は絶対にできない」ということになるのです。

この間は「第五世代」コンピューターの研究チームの「中心人物」という人と出会いましたが、その人でさえそんな、心細いことを言うのです。でも、世の中変わってきているように思います。駄洒落を言うコンピューターが作られたって知っていますか？ 皆さんの身の回りでもすぐに見ることができます。それはワープロです。

「正直で融通が利かない、そして命令されたこと以外は絶対にできない」これがコンピューターに人間の真似ができない話の第一ですね。ワープロってコンピューターの一種です。

そしてワープロ用のプログラムしか走りません。上記の「……」の典型みたいな存在です。

【例文2】

ポーランドのユダヤ人

ヘンリク・ゴールドシュミットは、ロシア帝国の支配下にあったポーランド王国の首都ワルシャワで、同化ユダヤ人の子どもとして生まれました。後にペンネーム、ヤヌシュ・コルチャックとして知られる人物です。（この本ではコルチャックを使用していきます。）一八七八年か七九年の七月二十二日が誕生日です（一八七七年という資料もあります）が、父親が出生届をなかなか出さなかったため、はっきりとした年はわかっていません。たぶん、そのころの社会情勢からすれば、彼の父は息子の兵役を少しでも先に延ばせれば、あるいは免れさせることができれば、と考えたにちがいません。当時ユダヤ人はとくに兵役が長く、若者のあいだで年齢をいつわったり、わざと自分の体を傷つけ身障者となる者もいました。

.....

一九世紀に入って、ポーランド軍団はナポレオンに与^{くみ}して闘い、ワルシャワ公国をつくりました（一八〇七年）が、ナポレオンの敗北によってウィーン会議（一八一四～五年）で再分割され、主にクラクフ共和国とロシア皇帝支配下のポーランド王国（会議王国）となりました。

人びとはロシア皇帝の圧制に対し、自由と独立を求め、蜂起につぐ蜂起を行ないました。一八三〇年、ワルシャワでの「十一月蜂起」が社会革命までに到らずに終わったとき、多くの人シベリアへ流刑になり、また“大亡命”と言われる八千名から一万名の亡命者が出ました。作曲家ショパン（一八一〇～四九）はこの「十一月蜂起」の敗北を異郷で知り、このとき、練習曲ハ短調「革命」が生まれたと言われています。

【例文3】

アンチ巨人

七月七日(火) 晴

新潮社佐藤誠一郎氏、広告制作室染川衛氏、カメラの宮寺さん来。主に全集、パンフレット作製のための仕事。

夜の十二時から朝六時までに手洗いに起きる回数を「正」の字でもって専用のカレンダーに記入すると書いたが、僕のアンチ巨人にも困ったもので、巨人軍が勝つと「正」もしくは「正一」になってしまう。そのかわり巨人軍が負けると、少し辛いこと腹の立つことがあっても「まあいいや、巨人がまけたんだから」と思っ就寝する。そうするとグッスリ眠れて、カレンダーは「一」か「一」になる。

巨人軍、旭川スタルヒン球場で中日ドラゴンズに勝って六連勝、首位となる。

（「音声訳」を考える 36）

今回の練習問題

【例文1】

「コーヒー」と「珈琲」

英国の随筆などを古い翻訳で読んでみると、「牛津」に旅行したというようなことが出てきて面食らうことがある。「牛久」なら聞いたことがあるし、うっかり忘れていたらしい講義を急速代わってさしあげた縁で、当時筑波大学の某有名教授からその葡萄酒をもらったことがあるが、こからイギリスに出店を出したという話は聞かない。第一、外国の地名が漢字で出てくること自体が尋常ではない。「英吉利」「仏蘭西」「独逸」「伊太利」「西班牙」「葡萄牙」「和蘭」あるいは「希臘」「羅馬」といった国名は有名だから見れば見当がつくが、初めて見て見当をつけるのは至難の業だ。地名でも「倫敦」や「巴里」ぐらいならいいが、都市自体は有名でも「^{ニューヨーク}紐育」や「^{サンフランシスコ}桑港」あたりになれば、あらかじめ知っていないと、まず読めないだろう。ほとんど判じ物みたいなものだ。

「蘇格蘭」や「伯林」などは答えがわかっても、どうして「スコットランド」や「ベルリン」となるのか、すっきりとしない。その点、英語の「オックス」を「牛」と訳し、「フォード」を「津」と訳したこの映画の都「牛津」は、映画の都「^{ハリウッド}聖林」と同様、わかってしまえば、なるほどと思う。

意味を漢字に置き換えるのではなく、音を漢字で写し取った一般の当て字は、本来は関係のなかったはずの漢字の意味が新たなイメージを作り出し、それが語感として働く場合がある。アメリカを中国語では「美国」と書くらしいが、そうすることで、その国が風光明媚な土地であるような印象が生まれるのではなからうか。日本語でも「米国」と書くので、米の収穫が豊富な国という感じをもつ人が多そうだ。「ベイコク」という音も「米穀」を連想させるかもしれない。

「英吉利」という字面も、漢字の力で、秀でる、めでたい、もうける、といった国柄のイメージをよびおこすことはないだろうか。・・・

【例文2】

十字架のつなぎ目

まり恵の二人の子どもは、頭脳と身体の分裂という現代人の苦悩を背負って死んでいった。マリアの子キリストも人類の苦しみを賜うために死んだと言われているが、キリストは現代人に対して癒しを与えないのだろうか。ともかく、まり恵にとっては直接的には助けにならなかった。それについて私の勝手なイマジネーションを述べさせていただくと、キリストの背負っていた十字架は十という形が示すように横棒が少し上にあり、身体に対して精神の優位を示している。これに対して、ムーサンと道夫という人間の十字は、王のように身体も精神も同等に見る正十字のように思えるのである。

人間と他の動物との差について考えると、確かに人間の精神の存在は、それと他とを区別する大切なメルクマールであるし、そのような意味での精神性の強調は、約二千年間くらい必要だったのであろう。しかし、二十世紀も終わりに近づいてきたあたりで、人間はもう一度、人間と動物との差があまりないことを自覚し、それを十字架として背負ってゆくことを必要とするようになったと思われる。そして、そのような意味での身体と精神とのつなぎ目に存在している「性」

ということが、実に重い意味をもつようになってきた。『人生の親戚』のなかで、性が重要なトピックとして語られるのも、このためであろう。

しかし、性というのは実に厄介なものである。体験せずに考えることはできないし、体験にのめり込むと考えることができなくなる。「精神」の優位を説こうとする宗教が、性をタブー視したこともよく了解できる。また、宗教---と言ってもキリスト教---に対して強い攻撃を加えようとしたフロイトが、性のことを正面からとりあげたのも当然である。しかし、それも「性」に関する「教義」によって固められた擬似宗教的な様相をもちかねない。

まり恵はアングル・サムというアメリカ人のボーイフレンドをもつ。サムはまり恵を性的に満足させれば「それだけで生きてゆかせることができる、と信じこんでいる様子なの。私には魂の問題もある、とは思わないんだわ」と、まり恵は言う。そしてサムは彼女が「チューター・小父さん」と呼ばれる人物を中心にする小さい宗教的集団の「集会所」へ入ったのも、その集団に「なにかオカルト的な性の秘法でも使われているのかと、邪推」したりする。性は魂に到る重要な通路となり得ても、性の満足イコール魂の癒しとはならないのである。

まり恵はチューター・小父さんの指導する「集会所」に入り、アメリカにまで行くが、そこで小父さんが病気で死んでしまう。グループの娘たちは、小父さんに続いて天国に行こうと集団自殺をしようとするが、まり恵が皆を説得して思いとどまらせる。このことも重要だが省略して、性に関する話を続けよう。

まり恵が苦心して「集会所」の娘たちを日本に帰したとき、日系メキシコ人、セルジオ・松野が、自分の経営する農場の精神的中心としてまり恵に来てもらうということを考える。松野の農場にはインディオや混^{メステイソ}血の人、日系人などいろいろな人がいるが、まり恵のような不幸な経歴をもった人が、その人たちのために献身してはたらくのをみると、彼女を「聖女のように崇め」ることによって、そこに中心を見だし、団結して仕事をするだろう、というのが松野の考えであった。まり恵は考えた末、それに乗るのだが、そのようなことを自分本位を示している。これに対して、ムーサンと道夫という人間の十字は、王のように身体も精神も同等に見る正十字のように思えるのである。

人間と他の動物との差について考えると、確かに人間の精神の存在は、それと他とを区別する大切なメルクマールであるし、そのような意味での精神性の強調は、約二千年間くらい必要だったのであろう。しかし、二十世紀も終わりに近づいてきたあたりで、人間はもう一度、人間と動物との差があまりないことを自覚し、それを十字架として背負ってゆくことを必要とするようになったと思われる。そして、そのような意味での身体と精神とのつなぎ目に存在している「性」ということが、実に重い意味をもつようになってきた。『人生の親戚』のなかで、性が重要なトピックとして語られるのも、このためであろう。

しかし、性というのは実に厄介なものである。体験せずに考えることはできないし、体験にのめり込むと考えることができなくなる。「精神」の優位を説こうとする宗教が、性をタブー視したこともよく了解できる。また、宗教 と言ってもキリスト教 に対して強い攻撃を加えようとしたフロイトが、性のことを正面からとりあげたのも当然である。しかし、それも「性」に関する「教義」によって固められた擬似宗教的な様相をもちかねない。

二通りの読みがあって意味が異なるもの(43)

反応	ハンノウ 手応え、態度。	心性	シンショウ 心の本来の姿(仏)
	ハンノウ 裏切ること。内通。		シンセイ ところ。天性。生まれつき
定規	ジョウキ	小兵	コヒョウ 身体の小さいこと。
	テイキ 定まっている規則。		ショウハイ 少人数の兵。
代物	シモノ 売買する商品。	寒声	カンゴエ 寒中に大声で経を読み、歌を 歌い音声の訓練をする。
	ダイモツ 代金。		カンセイ 寒く感ずる声。

きれいに録音する為に 22回

録音中に音量が急に落ちる？

録音してて急に録音レベルが低くなる(音量が小さくなる)といった事が起こることがあります。最近、二人の方から、「急に録音レベルが下がった。どうしてか」といった質問をうけました。マイクの種類を尋ねると、エレクトレットコンデンサーマイク(電池使用のマイク)のようでした。乾電池を取り替えていないようなので新しいものと替えてみるようアドバイスすると、どちらも録音レベルが戻ったようです。

最近、こうしたマイクの電池切れによるトラブルがよくあるようです。自分のマイクがどの種類かわからずに使用している人もいるようです。特に、図書館などで共同で使用している場合、使用しているマイクの種類などがわからない場合が多いようです。マイクの種類は、ちょっと見ただけではわかりませんが、電池式の場合は、乾電池を入れる為に、マイクをねじると電池が入られるようにマイクのケースが取れます。

自分の使っているマイクの種類は必ず確認しておきましょう。もし、電池式の場合は、必ず電池の寿命は半年から1年と覚えておきましょう。中には使う度に電池を新しいものと入れ替えておられる方もありましたが、使う度に変える必要はありません。

Q. 「熟字訓」とは、どのような訓なのか。また現在使える熟字訓はどれくらいあるのか。

A. 「海女」を「あま」と読むように、2字以上の漢字の組み合わせの語の特殊な読み方を熟字訓という。

「常用漢字表」には、この種の熟字訓の語が「付表」として110語示してある。この付表に示してある語に限って漢字で書く。例えば次のような語である。

硫黄 乳母 浮気 笑顔 大人 乙女 神楽
 河岸 蚊帳 果物 景色 棧敷 五月晴れ
 五月雨 芝生 数珠 白髪 相撲 草履 足袋
 築山 梅雨 投網 時計 友達 名残 雪崩
 野良 波止場 日和 吹雪 下手 部屋 迷子
 息子 眼鏡 猛者 木綿 浴衣 寄席

「飛白(かすり)」「三和土(たたき)」「万年青(おもと)」「百日紅(さるすべり)」などは、「付表」に入っていないので、かな書きにする。

なお、「熟字訓」ということばは、文部事務官であった三宅武郎の造語(昭和30年ごろ)だといわれている。

Q. 「経験」の発音は〔ケーケン〕か〔ケイケン〕か。

A.

1. 「経験」「性格」など漢語系統の〔エイ・ケイ・セイ・・・〕は、日常自然な発音では長音になる。

放送でも、原則として長音で発音する。

ただし、一音一音明確に言う場合には、〔エイ・ケイ・セイ・・・〕となることがある。

<例>

「経験」・自然な発音では〔ケーケン〕

・一音一音明確に発音すると〔ケイケン〕

(自然な発音では〔ケーケン〕であっても表記としてのかなづかいは「けいけん」である。「けえけん」とは書かない)

2. 和語系統の〔エイ・ケイ・セイ・・・〕は、自然の発音でもなるべく長音としない。

<例>

エイ えい<鱈>

メイ めい<姪>

マネイテ 招いて

3. 外来語系統(地名、人名を含む)の〔エイ・ケイ・セイ・・・〕は、自然の発音でも、長音としない語がある。

<列>

ペイ Pay

スペイン Spain

メイン州 Maine

レイキャビック Reykjavik

メリア Meir

(注) NHKの「外国語のカナ表記の原則」では、『二重母音の「エイ、〔ei〕」は、原則として長音符合で、〔エー〕と書き表す』としている。しかし、上記の例のように、〔エイ〕と発音するほうが望ましいものについては、表記の面でも例外として「エイ」としている。

利用者から製作依頼を受けている原本

『算命学中国占星術』 <心理学>
『狂信者』 (上・下) <小説>
『可視光線総合療法』 <医学>
『株取虫』 <情報科学>

※お願い 以上のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。
引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。

今回引き受けて頂いた原本とグループ

『トムクラッシーの原潜解剖』 <社会> 『食文化入門』 <風俗習慣> 『東洋医学を知っていますか』 <医学> 『八〇〇万人の死にざま』 <小説> 『復刻S-Fマガジン』 <小説> 『悪魔の思想』 <小説>	堺グループ えくてもあ えくてもあ テープライブラリーにしのみや ICCBリクエストグループ "
---	---

英語音訳講習会のご案内

96年9月24日(火)から、10回の
予定で、毎日新聞大阪社会事業団委託による
専門図書音訳講習会「英語コース」をス
タートする予定です。この講習会に参加を
希望されます方は、盲人情報文化センター
録音製作係の清水までご連絡ください。

期間： 1996年9月24日(火)

(スタートは10月にずれ込む事もあります。)

毎火曜日

時間： 午後1時～3時

会場： 盲人情報文化センター 6F

費用： 無料

8月の

『ろくおん通信』は休みます

『ろくおん通信』の発行が遅れ、ご迷惑を
おかけしております。8月は『ろくおん通
信』は休ませて頂きます。